

練馬区立図書館への広聴回答

番号	収受日	件名	経緯・内容	回答内容	申出者への回答	区分
2952	1月12日	図書館の選書等について	<p>光が丘図書館では、誰も読まないような本を購入している。犯罪だ。図書館の生命線は選書にある。どのような本を選ぶべきなのかという、面白い本、役立つ本である。今回、図書館は、俳句俳人についての本を5冊も購入した。1冊12,000円なので合計で60,000円である。こんなつまらない本を読む者は、誰もいない。このお金で、面白い本や役立つ本を60冊購入できる。税金の無駄遣いだ。犯罪だ。図書館の職員は本屋や出版社から賄賂を受け取っている。お中元やお歳暮を受け取っていることを、私は知っている。以前、板橋区から来た館長が、受け取っていると言っていた。私は、この重大事案について朝日新聞の社会部記者に連絡する。</p>	<p>本人からの年賀状に記載の要望どおりに面会を実施。光が丘図書館の体制および歳暮や中元をもらっていないことを説明した。また、選書の考え方や体制、公共図書館の役割等についても説明。 (説明するも納得せず、激昂して机をたたき、図書を投げつける等行う。この後、本人は区役所広聴広報課にも電話をしている。)</p>	1/12以降	電話および面会

練馬区立図書館への広聴回答

番号	収受日	件名	経緯・内容	回答内容	申出者への回答	区分
2954	1月22日	大泉図書館の屋上庭園について	子どもと一緒に大泉図書館の屋上庭園に行くことが多いが、子どもが少しはしゃぐだけで、「図書館なので静かにするように」と注意される。しかし、日当たりの良い屋外のため子どもは遊びたがり、静かにしていることは難しい。この庭園は子ども図書コーナーの隣にあるのだから、もう少し子どもに寄り添った考え方をしてもらいたい。	大泉図書館の屋上庭園は、図書館の一部として屋外で読書をお楽しみいただく場として提供しています。建物の構造上、お子さんが走り回ったり騒いだりすると、下の階の閲覧スペースに響いてしまうため、ご遠慮いただくようお願いしているものです。ご理解をくださいますようお願いいたします。 天気の良い日には、お子さんと一緒に絵本などをお読みいただく場としてご利用いただければと思います。また、暖かくなりましたら、屋上庭園でのおはなし会も開催しますので、ぜひご参加ください。	1月29日	メール
2955	1月23日	練馬図書館の崩壊について	業者大新東によってもたらされた長年問題を抱えた委託業務。退場した大新東の後に入ったTRC。「ひとが居ない」とニコニコとして伝える。練馬図書館の「崩壊」である。今まで館長は、退職目前のポストだった。2018年早々に、とうとう落城のうきめに遭った。この先のことは責任者(昼間・夜の)と館長が、可及的速やかに結論を出すべきだ。等		参考送付	区長への手紙